

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	・けやきユニットで現在車椅子での拘束ベルトをつけている利用者が2名いる。1名は入所当初から重度認知症の方で、指示や意志疎通が不可能な方だったので家族の了解を得てずり落ち防止目的に付けている。1名は数回の室内での転倒で、硬膜下血腫を受傷、入院した経緯があり、元々の性格もあって指示が入らない事が多いので、予防の為に拘束ベルトをしている。拘束時間記録と検討会を開いているが、当たり前にならない様に話し合いの場を常に設けなければならない。	・拘束ベルトをはずす。	・1名は臥床中の4点柵を中止し、センサーに切り替え、床にマットレスを敷いてみたら、問題なく拘束解除ができた。車椅子上はまだだけれども、3ヶ月毎に見直していく。	6ヶ月
2	2	・地域の中の一員としての位置づけを施設として担っていかなければいけない。 いきいきサロンに参加させてもらっているが、地域の人も訪ねてくれるグループホームを目指さなければいけない。	・地域の人も気軽に訪ねてくれるようなグループホームになりたい。	・いきいきサロンには引き続き参加していき、顔なじみになっていく。 ・他に地域の行事に出ていける様な環境作りをしていく。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。